



~メタウォーターの取り組み~

2013年1月24日

中村 靖

メタウォーター株式会社



- I. 会社概要
- Ⅱ. 水処理施設概要
- Ⅲ Ⅰ CTとの関係
 - 1. 水処理施設の設計・建設におけるICT
 - 2. 水処理施設の運営・維持管理におけるICT
- Ⅳ. 社会実験の構想アイディア

富士電機 ホールディングス

富士電機システムズ

環境システム分野

2007年2月22日 基本合意 締結



環境装置事業



M

注)現在の富士電機(株)

富士電機水環境システムズ



2007年4月1日 分 社 化

2007年11月26日 合併契約 締結 NGK水環境システムズ



2008年4月1日 合併新会社 メタウォーター 設立



社 名:メタウォーター株式会社

代表 者:代表取締役会長 松木 晴雄

代表取締役社長 木田 友康

本 社: 東京都港区虎ノ門4-3-1

城山トラストタワー

資本金:75億円

売 上: 1,011億(2011年度)

営業利益率 : **84億円** (8.3%)

従 業 員 : 1,860人 (関連会社含む)

主要事業所 : 本社(神谷町)、神田、日野、名古屋、知多

■セラミック膜ろ過システム

~国内浄水膜シェアNo.1~

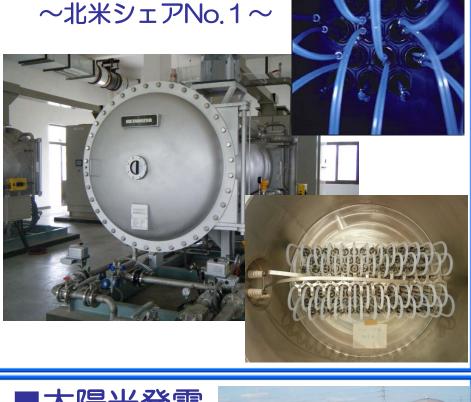


宮城県石巻市

震災支援で造水中



■オゾン発生装置





■下水汚泥ガス化炉

~世界初の実施設。温室効果ガス削減。 東京都清瀬水再生センターに導入~



■下水再生水造水システム

~東京都芝浦水再生センターに導入~



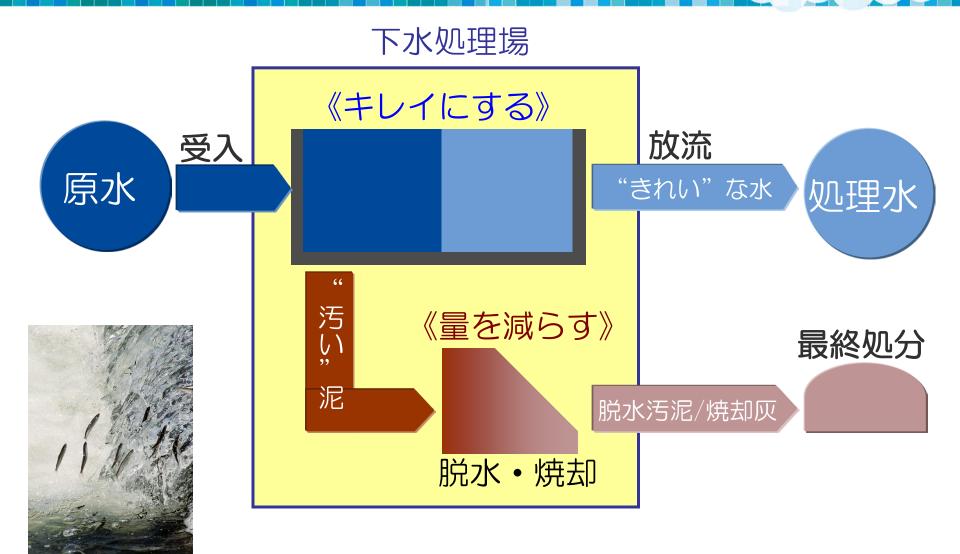
■消化ガス発電システム





単純化した水処理プロセス





下水道の普及により、 多摩川に鮎が戻る。 2007年には200万匹が遡上。



- 1. 会社概要
- Ⅱ. 水処理施設概要
- III. ICTとの関係
 - 1. 水処理施設の設計・建設における I C T
 - 2. 水処理施設の運営・維持管理におけるICT
- Ⅳ. 社会実験の構想アイディア

下水処理場を資源基地に





下水処理場から再生される資源

希少資源リン

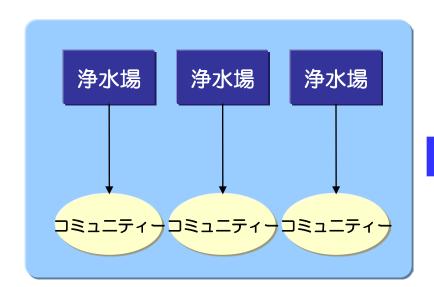
限りある資源

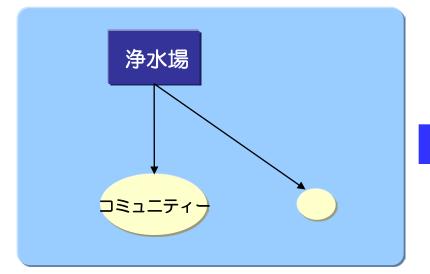
【再生水】

石油代替資源

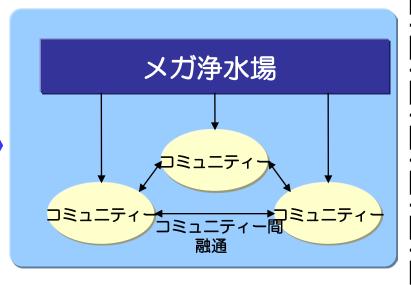
石炭代替資源 **炭化物**

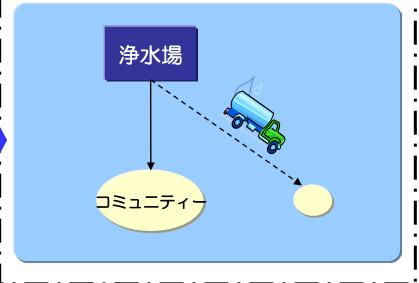
有効活用資源 (下水)熱





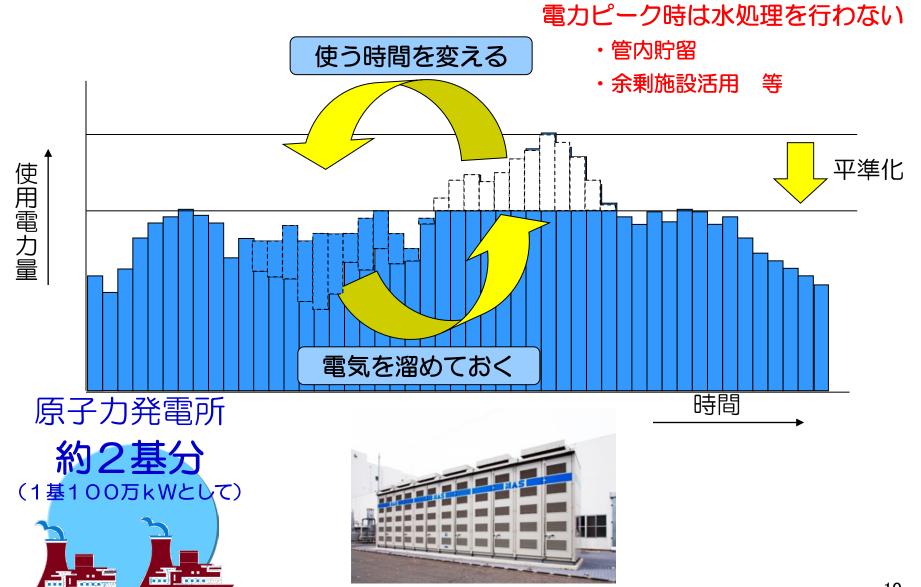
+ ICTが不可欠





電力の大口需要家としての水処理施設

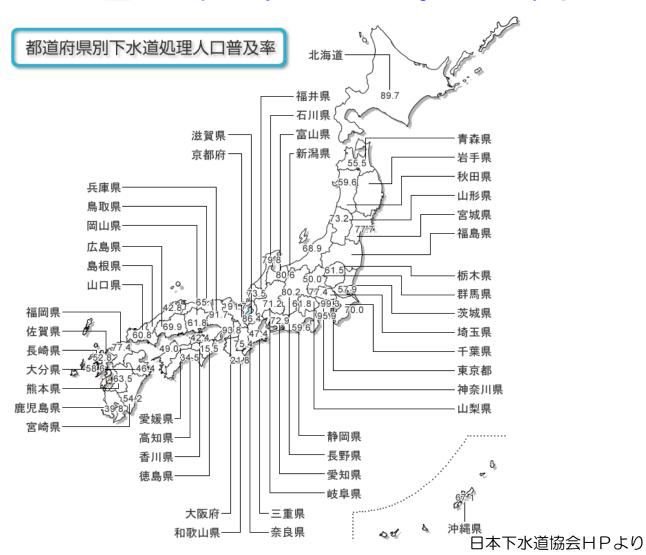


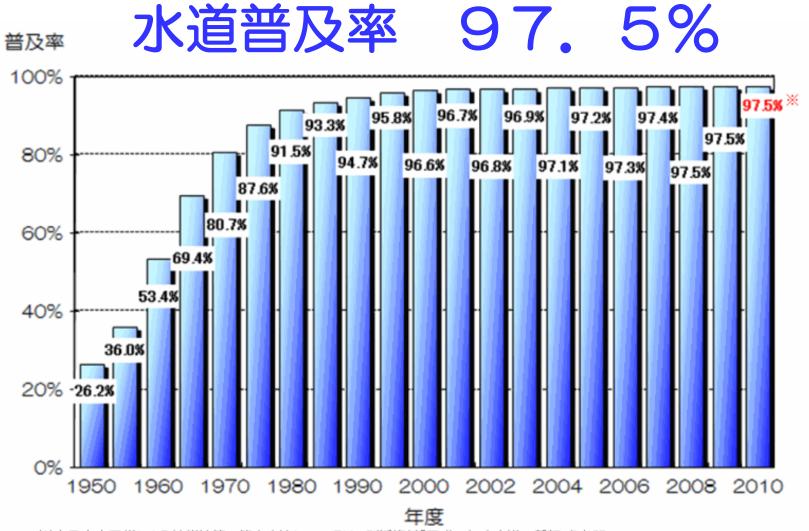




- 1. 会社概要
- II. 水処理施設概要
- III. ICTとの関係
 - 1. 水処理施設の設計・建設におけるICT
 - 2. 水処理施設の運営・維持管理における I C T
- Ⅳ. 社会実験の構想アイディア

下水道普及率 75.8%

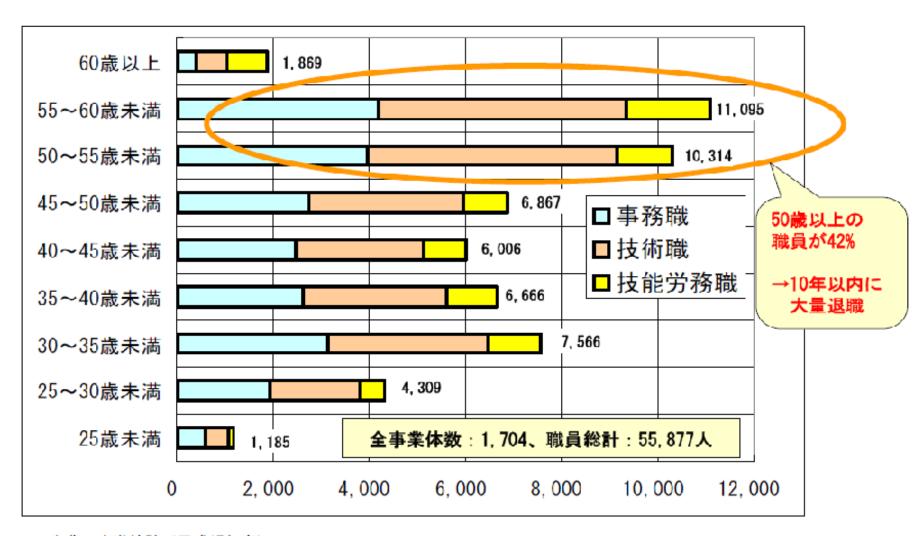




※東日本大震災による被災地等の算出方法については、別添資料「平成22年度水道の種類」を参照。

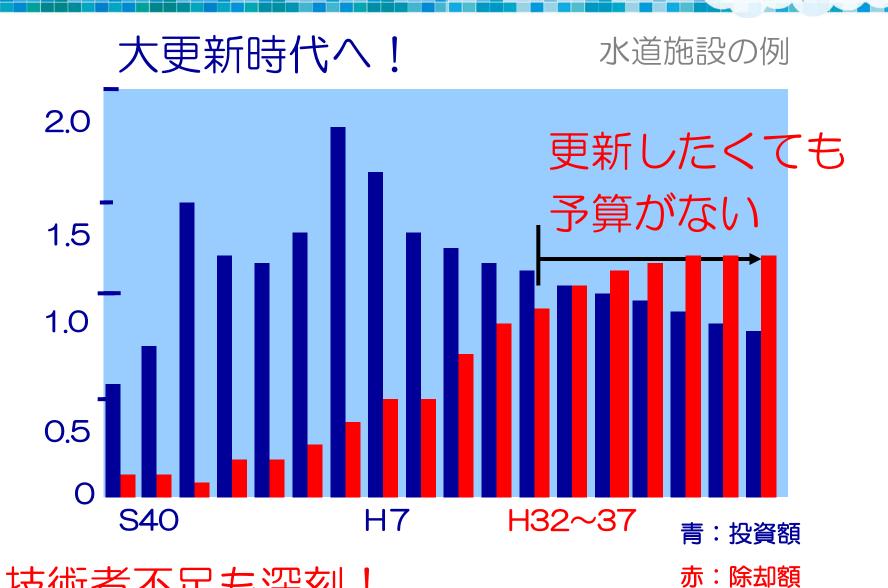


漏水事故管($FC\phi500mm$)



出典:水道統計(平成17年度)

厚労省HPより



技術者不足も深刻!

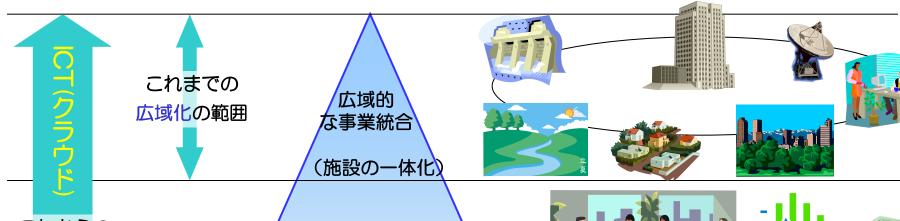
▶財政難

▶技術者不足



- ▶包括化
- ≻広域化





これからの包括化・広域化

(経営の一体化)









これまでの/ 包括化の範囲

(管理の一体化)











(水質試験センター、広域連結管、緊急連絡管等









これまでの上下水道事業・・・EPC中心

- ※設計(Engineering)・調達(Procurement)・建設(Construction)

これからの上下水道事業・・・PFI・DBOなど資金調達も 含めたPPP事業にシフト

PFI

川井浄水場再整備事業

~日本初の「浄水場施設全体のPFI」~

- ■顧客名:横浜市水道局
- ■契約金額:27,679,173,328円(稅込)
- ■事業範囲:川井浄水場再整備に係る資金調達、設計・施工、 運転・維持管理、発生汚泥の有効利用
- ■事業期間:

[施設整備期間]平成21年4月1日~平成27年3月31日

「運転·維持管理期間] 平成26年4月1日~平成46年3月31日 (20年間)

- ■事業方式:BTO方式(Build Transfer Operate) ウォーターネクスト 横浜株式会社(SPC)が資金を調達し施設を建設後、 施設の所有権を横浜市水道局に移転した上で、同社が 施設の運転・維持管理を実施
- ■浄水処理能力:172,800㎡/日





DBO

大牟田:荒尾共同浄水場施設等

整備:運営事業

~県境をまたぐ水道事業の広域化~

- ■顧客名:福岡県大牟田市·熊本県荒尾市
- ■施設名称:ありあけ浄水場
- ■契約金額:7,990,500,000円(稅込)
- ■事業範囲:共同浄水場の設計・施工・維持管理 共同浄水場外施設の維持管理
- ■事業期間:

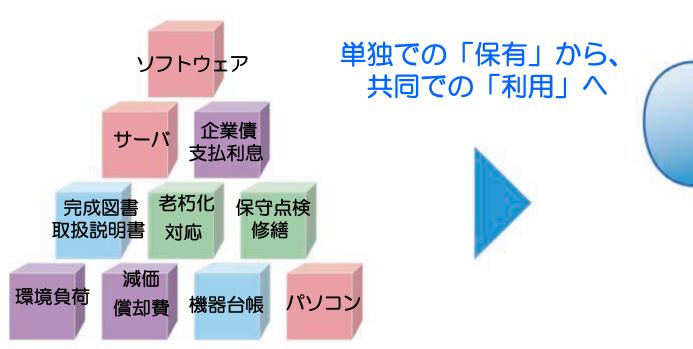
[設計·施工期間]平成21年6月6日~平成24年3月31日 [維持管理期間]平成24年4月1日~平成39年3月31日(15年間)

- ■事業方式: DBO方式 建設工事共同企業体が施設を設計(Design) 建設(Build)した上で、有明ウォーターマネジメント(SPC) がその施設の運転・維持管理(Operate)を実施
- ■浄水処理能力:26,100㎡/日



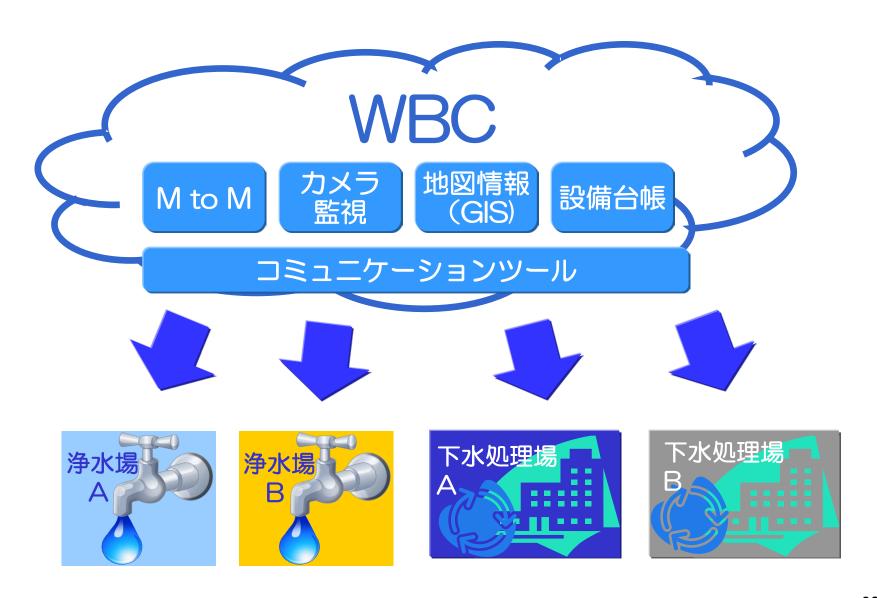


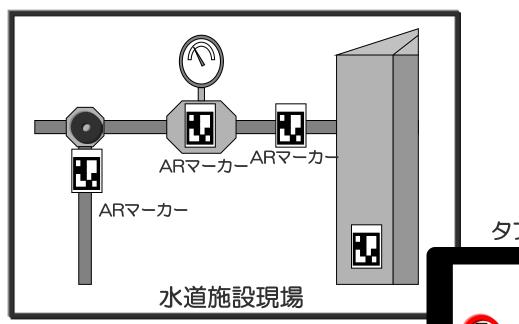
WBCはクラウド上に、事業運営を役立つ システム(サービス)をコンテンツとして構築し、 複数の事業運営者で情報をシェアして使用する、 クラウドコンピューティングを活用した 「クラウド型プラットフォーム」です。





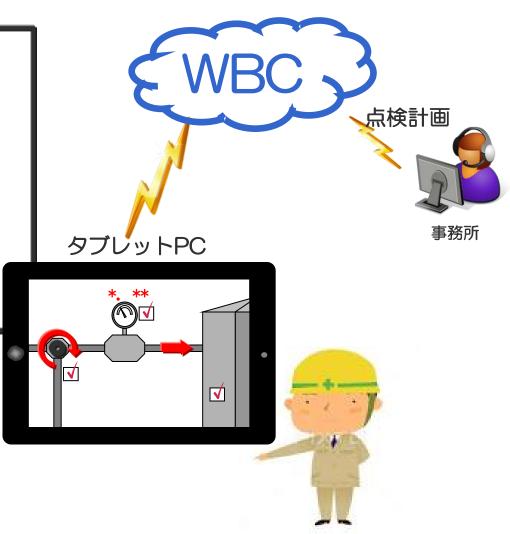






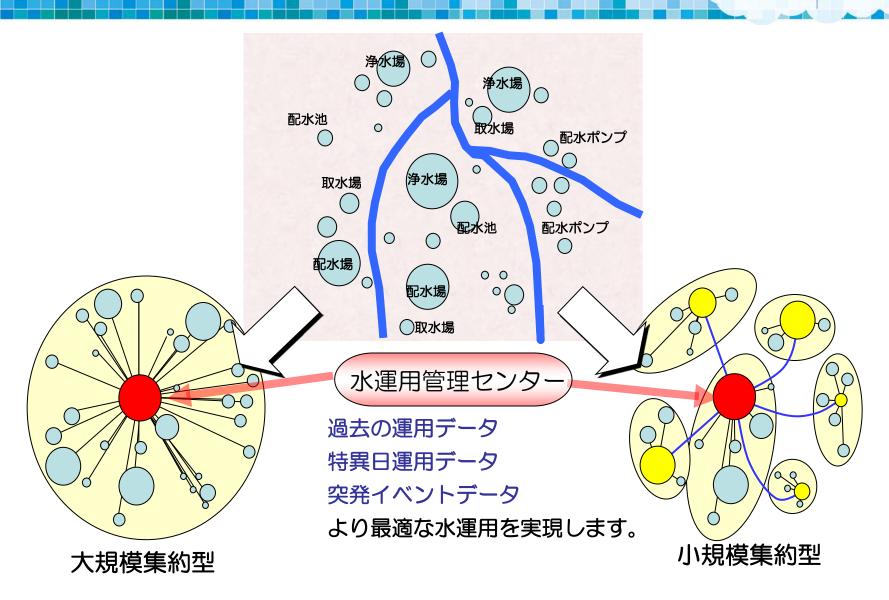
AR技術とARマーカーにより

- ①現場点検チェック
- ②操作方向指示
- ③流体方向指示
- ④現場指示値データ化



<u>現場業務負担</u>を軽減します。

- 1. 会社概要
- Ⅱ. 水処理施設概要
- III. ICTとの関係
 - 1. 水処理施設の設計・建設における I C T
 - 2. 水処理施設の運営・維持管理におけるICT
- IV. 社会実験の構想アイディア





$$y = \int (x_1, x_2, x_3, \cdot \cdot \cdot x_m)$$

- X1=本日の貯蔵量
- X2=昨年の造水量
- ★₃=昨日の需要
- Xm=特殊要因



消火用水

(テレビ視聴率)

y =本日の需要予測 (本日の造水計画量)

小さな街でも「水運用センター機能」を持てる

双子の姉妹が同じ服を着るように国内と同じ施設を海外の姉妹都市に建設されれば・・・・

将来、海外から日本を監視してもらう事も可能(WIN-WIN)









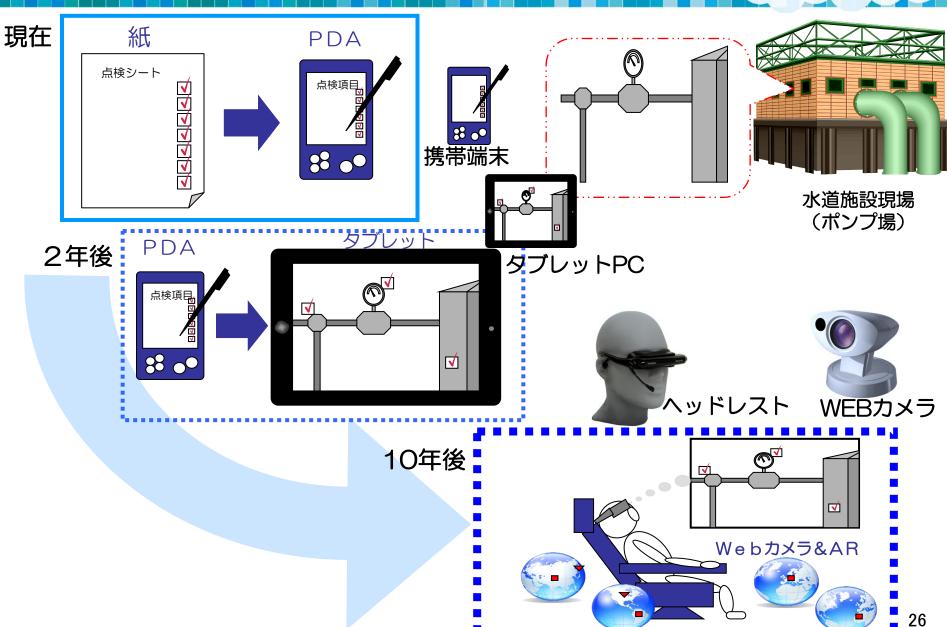




実機を見ながら質問・指導が出来る

計画実証実験

METAWATER





メタウォーター株式会社

取締役 サービスソリューション本部長WBCセンター長 中村 靖

電話:03-6853-7290

メール: nakamura-yasushi@metawater.co.jp





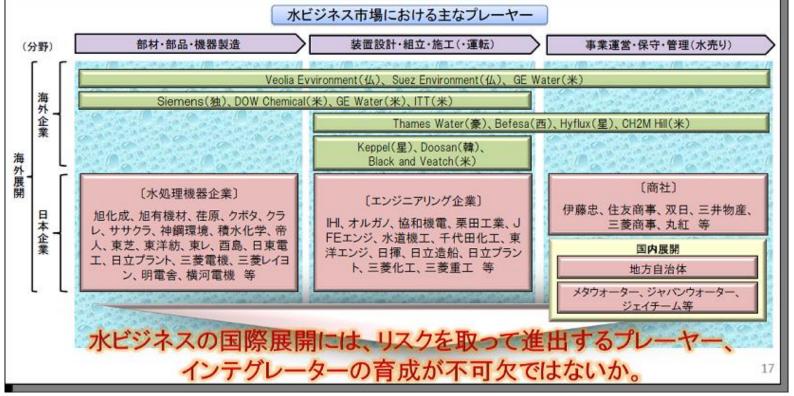
ご清聴ありがとうございました。



参考資料

10. 水ビジネス市場における日本企業群

- ▶我が国は、部材・部品・機器製造分野、装置設計・組立・施工分野において、多数 の企業が参画し、運営・保守・管理分野にも商社が参画している。
- ▶ Veolia Environment (仏)、Suez Environment (仏)を中心とした水メジャーは、装置設計・建設から運営・管理までを中核事業として位置づけ、その事業範囲を部材・部品・機器製造分野にまで拡大し、一貫したサービスを提供している。



日本企業の対抗の可能性



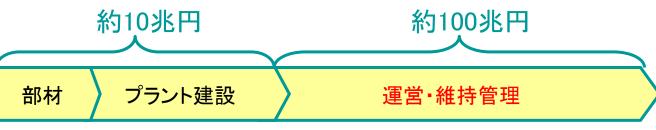
- ▶海外の「水メジャー」に対抗するには、
- ▶ノウハウの獲得や、バリューチェーンの補完を行う必要がある。
- ▶クラウド技術は、その有効な補完手段となりうる。

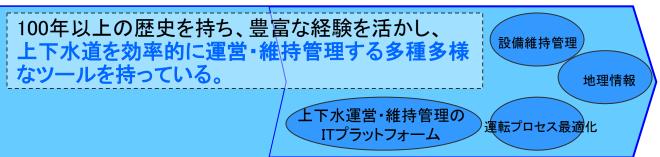
水ビジネス 市場規模

(グローバル・2025年予測)

水メジャー

日本企業





日本の場合、運営・維持管理のノウハウは自治体 にあり、企業は運営・維持管理のノウハウ・ツール を持っていないため、なかなか参入できない。

ICTで補完できないか?